

事業番号	09 04 02	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■ 点検
事業名	皆で取り組む園芸振興事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H17 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

### 1 事業の概要

目指す姿	行政・研究・生産・流通・販売団体等が組織横断的に連携し、相互の英知を集約しながら生産振興に係る広域的な課題や重点的な取り組み方向、消費者からの求評等の各種課題等を設定し協働して進めながら、一体的な体制で生産振興を行い、競争力と収益力の高い園芸産地を育成する。		
現状 (予算編成時)	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の約65%(1,973億円/県全体3,031億円)を占める主要部門であり、生産性の向上や競争力の強化が重要な課題となっている。特に、園芸作物の生産において、多様な気候条件を有する県土の利点を活用しながら、重要な生産課題を設定しながら構成団体が力を結集して解決につなげる事が重要である。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 組織横断的連携により園芸振興に効果的な施策を展開し、県民の主体的な参画と協働を促す。第2期長野県食と農業農村振興計画	
	県民との協働による実施:	実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)			
	事業実施主体の実施計画に基づき設定。 ○果樹:早期多収・省力化栽培技術研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種検討会の開催 5回 ○花き:秋期出荷量・品質の向上に向けたモデルほ場の設置 13か所 4品目(カーネーション、トルコギキョウ、リンドウ、ダリア)秋出荷本数 H26:13,749千本→H27:14,500千本→H28:15,000千本 ○野菜:反収向上に向けた地域モデルほ場20か所の設置 ○アスパラガス、果菜類等の栽培研修会・現地検討会 6回			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算) H29 (当初)
	早期多収・省力栽培技術の導入及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご新しい化栽培等早期多収・省力化栽培技術の導入推進を図るための研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催ほか(研修会・検討会の開催 5回)【補助先:長野県園芸作物生産振興協議会うまいくだもの推進部会】	1,422 1,422 1,412
新鮮で高品質な花きを安定生産するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション、トルコギキョウ等の秋期出荷量・品質の向上に向けたモデルほ場の設置ほか(モデルほ場13か所)【補助先:長野県園芸作物生産振興協議会美しい信州の花推進部会】	563 563 563	
野菜の品質向上及び多品目化等実需者が求める生産の推進	補助金	反収向上に向けた地域モデルほ場の設置、アスパラガスや果菜類等の生産振興のための研修会ほか(野菜地域モデルほ場20か所、研修会・現地検討会6回)【補助先:長野県園芸作物生産振興協議会野菜生産振興部会】	1,130 1,130 1,130	
		合計	3,115 3,115 3,105	

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	3,105	3,115	3,105				目標	成果	達成状況	
		補正予算				果樹早期多収・省力化栽培技術研修会・オリジナル品種検討会	5回 203人	5回 200人	5回 200人	5回 207人	達成	-
		合計(A)	3,105	3,115	3,105	花き秋期出荷量本数	13,749千本	14,500千本	15,000千本	15,178千本	達成	-
	Aの財源	一般財源	3,105	3,105	3,105	野菜地域モデルほ場	23か所	23か所	20か所	21か所	達成	-
		県債				研修会・現地検討会	6回 481人	6回 450人	6回 450人	6回 467人	達成	-
		国庫支出金				園芸作物の産出額	-	2,103億円	-	2,057億円	-	1,930億円
	決算額(B)	3,105	3,115									
	概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30							
概算人件費(C)		2,483	2,374	2,374								
概算事業費(B(A)+C)	5,588	5,489	5,479									

目標に対する成果の状況	競争力と収益力の高い園芸産地育成に向け、モデルほ場の設置や現地検討会等の開催等に取り組み、生産振興上の課題に対応することができた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	競争力と収益力の高い園芸産地育成に向け、広域的な課題に対し重点的に取り組むなど、今後も現行どおり実施する。